

# 滋賀・金勝アルプス

T野

2023年11月3日  
メンバー： T野×2



年に1回のカミさんと二人の贅沢旅行。今年は3泊4日の日程で滋賀県と福井県の城跡巡りをメインにした。そして、その中で一番天気の良い日を、唯一、僕の希望の金勝アルプスに充てることできた。

■写真上 金勝アルプス概念図

■写真下 最初はジュラシックパークのようなシダの森。



金勝と書いて「こんぜ」と

読む。ふつうは読めないのだからこれは覚えるしかない。つくづく日本語は難しい。金勝アルプスは琵琶湖の南端近くにあり、この山の南側は、数年前に朝ドラ「スカーレット」の舞台になった信楽の郷である。我々関東人にとっては土地勘も馴染みも薄く、知名度もない500m前後の低山である。しかし、そのポテンシャルはただの低山と違って非常に高い。山全体が花崗岩から成り、奇岩・巨岩・珍岩が無数に聳える個性豊かな山塊なのだ。そして、その手軽さが

ゆえ、地元では大人気の山でもあるらしい。ここを知ったのは、題名は忘れたが、最近よくやっている山歩きを題材にしたテレビ放送。確か1時間ものだったと思うが、低山の割に変化に富んだ楽しそうな山として僕の脳裏にインプットされた。そして、mさんが僕より一足先にここを訪れていて、珍しくベタ褒めしていた山なのである。これは行かねばなるまい！！せっかくこの近所を訪れる今回の旅行、滋賀に行くのならぜひ立ち寄りたい！！とカミさんに提案し、その手軽さゆえにすんなり受け入れられた。

では、サクッと報告を・・・。



天気の関係で、金勝アルプスは旅行初日に訪れることになった。前日夜、新幹線で米原まで来て、駅前の安ビジネスホテル（二人で¥6,300）で朝から遊びに来ていたカミさんと合流。

11/3

今日は金勝アルプスを歩いた後に、福井県まで移動しないといけないので忙しい1日だ。にもかかわらず、レンタカーは朝一番の予約でも8時、これはのんびりしてられない。走り慣れない名神高速を飛ばし、草津JCTで新名神に入ってすぐの草津田上ICで高速を降りる。もう、山は近いはずなのだが、全くそんな雰囲気はなく、山らしいものが全く見えない。

「金勝アルプスってどこだ・・・？」全く土地勘のない場所を、ただナビを頼りに走るというのも結構不安なものだ。それでもさすが文明の利器！！ICから20分位で登山口の上桐生に無事到着。大きな有料駐車場があるが、ここにきて急に登山客がワラワラと現れ、この大きな駐車場も満車寸前、ギリギリで駐車スペースをゲット！！イヤイヤ大人気である。

■写真上 ビックサンダーマウンテンのような落ヶ滝！！

■写真中 滝上は明るい沢沿いの道。

■写真下 奇岩・巨岩・珍岩のオンパレード

とにかく準備して9:20出発。ヤマツプの地図を頼りにまずは落ヶ滝を目指す。しばらく公園のような道を行くが、いつしか辺りはシダがフサフ



サ茂るジュラシックパークのような森となる。あまり見かけない景色である。森は痩せていて、山深さもあまり感じられないが独特な雰囲気がある。やがて、明るい沢沿いのトレールとなると落ヶ滝は近い。落ヶ滝は高さ 20m 位の花崗岩の酒滝でディズニーランドのビッグサンダーマウンテンのようなハリボテ感満載の滝だが、当然ハリボテではない。なかなか見応えがある滝である。今日のルートの見どころの一つだ。



さて、少し戻って、左から回り込んで滝上に出ると明るい沢沿いの道となる。どこかで歩いたことのあるような雰囲気だ・・・？どこだろう・・・？と考えることしばし・・・。

そうだ！！この雰囲気は屋久島の宮之浦岳に登る登山道の雰囲気に似ている。ミニ宮之浦岳である。（そう思うのは僕だけ？）

そして尾根に乗ると、いよいよ金勝アルプスの本領発揮！！花崗岩の奇岩・巨岩・珍岩があちこちに点在し、庭園的な美しさを醸し出している。この雰囲気も屋久島の宮之浦岳の稜線に似ている。わずか 500m かそこの山とは思えない高山的な風景である。

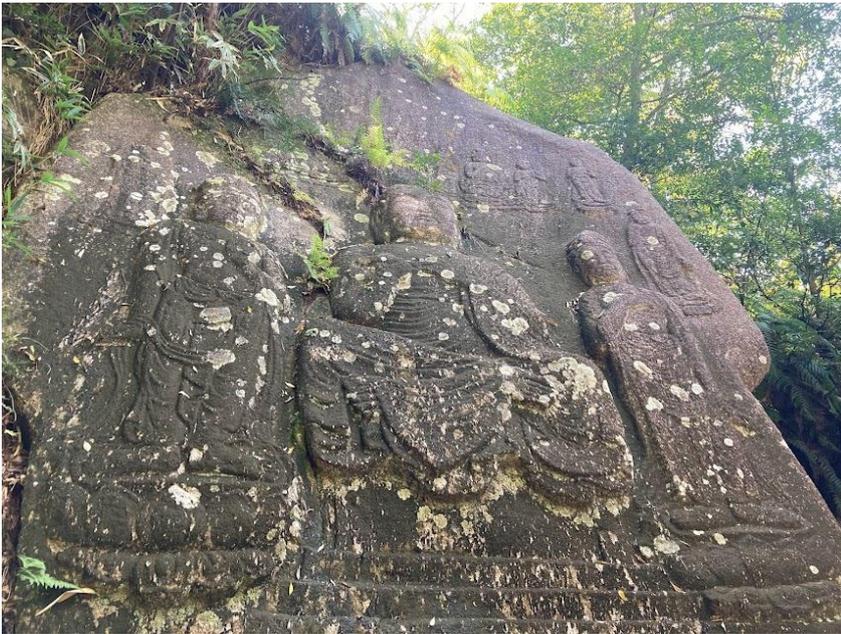


■写真上 今日のクライマックス、天狗岩が見えてきた。

■写真中 ニヨキニヨキ生える岩峰が面白い！！

■写真下 天狗岩のてっぺん！！

この稜線の縦走路は楽し



い！！遠くから見ると登れそうもない立派な岩峰にも無理なく登ることができ、高度感あふれる風景が眼前に広がる。この山塊の一番人気、天狗岩である。人が多いのには多少閉口するが、この快適さなら人気があるのも頷けるというものだ。見渡す山々にニョキニョキと独特な花崗岩の岩峰が無数に聳え、その風景や雰囲気がつい谷村新司の「昴」を思わず口遊んでしまう気持ちにさせてしまう。確か中国にこんな景色の山ってあったと思うんだけど・・・確か桂林だったっけ？ 屋久島じゃないんかい！！と思わず自分を突っ込みたくなるが、要はいい加減なのだ、というより金勝アルプスは金勝アルプスなのだ！！



■写真上 狛坂摩崖仏、奈良時代後期に造られたようだ！！

■写真下 オランダ堰堤、こちらは明治時代に造られたようだ。

さて、楽しい稜線歩きが

ひと段落すると、ルート後半は狛坂摩崖仏・逆さ観音などの史跡の旅となる。説明を読むと歴史は古く鎌倉時代の参道だったようで、なかなか興味深い。そして、最後は「オランダ堰堤」明治時代に造られたようだ。ひとつひとつ説明を読んで歩くと楽しい。

というように、前半はジュラシックパークのようなシダの森と滝、メインディッシュの稜線は屋久島か中国のような岩峰群、後半は史跡の旅という感じで、4時間程度の行程にアトラクション満載！！実に楽しい山であった。関東からは遠いので簡単には訪れることは難しいが、我々のように旅行のついでに軽く半日のハイキング、という感じで訪れるなら、是非お勧めしたい場所である。興味のある方はぜひ訪れてみてください。ではでは・・・。

#### ■コースタイム

上桐生駐車場 (9:20) ~ (9:50) 落ヶ滝 (10:08) ~ (11:00) 天狗岩 (11:20) ~ (12:30) 狛坂摩崖仏 ~ (13:20) 逆さ観音 ~ (13:30) オランダ堰堤 ~ (13:35) 上桐生駐車場